

2011.7月17日(日) 数寄屋研究所心傳庵 藤五郎

## 京都・嵯峨広沢池 春秋庵茶室増築工事 土壁現場勉強会のご案内

消滅しつつある伝統構法の再生の取り組みが各所で行われていますが、当会でも熟練伝統技能者の技のノウハウを学び、それを伝統構法再生の一般解の指針につなげるための研究に取り組んでいます。

このたび、施主の宗教法人世界救世教の特別なご好意により、当会の耐震研究の指導を受けている数寄屋研究所心傳庵 木下孝一棟梁の茶室増築工事の「土壁現場勉強会」を開催することになりました。

平安文化の面影を残す嵯峨の地での茶室増築は、昭和 20 年に主屋を建てた華北交通総裁の宇佐美寛爾氏とその建物を譲り受けた世界救世教の岡田茂吉 明主さまの悲願であり、両氏の想いを 66 年目に実現する取り組みとなりました。木下棟梁は増築に際しては、日本の木造伝統文化を蘇らせて今後何百年にわたって継承・発展させるための工法を研究・開発し、導入しています。その成果は次の現場の東京での銀閣寺東求堂の写しの建設にも反映される予定です。

伝統構法の性能検証は実験や数字だけでは困難で、「現場で木や土等の材料、工法の性能を総合的な視点から比較検証して、切磋琢磨してより優れた工法を創り上げ伝承していく力を養う」ことが再生の第一歩と考えます。今回は、前回の 5 月建方見学会に続き、心傳庵独自の土壁工法の中で最も重要な「荒壁塗」の現場見学を通して、伝統構法の本質と再生手法、新たな可能性を学ぶ予定です。



5/15、16の建方工事の現場見学会

開催日時 7月17日(日) 午前9時半～11時半

会場 宗教法人世界救世教 平安郷(へいあんきょう)内(京都市右京区嵯峨広沢池の東端、下図)  
建物概要 木造伝統構法の既存数寄屋建築に増築する茶室(約20坪)の新築工事。竣工8月予定。

<既存建物> 工期:昭和16年～20年2月。施主:宇佐美寛爾氏(華北交通総裁)、設計:黒岩賢次氏。  
その後、同建物を世界救世教が昭和27年に入手し、春秋庵と命名する。約90坪。

集合時間・場所:7/17(日)午前9時に会場入口のガードマン詰所前に集合。9時15分に現場に移動。  
(遅れる方はガードマン詰め所で見学の手続きをして拝観お礼500円を納めて下さい)

参加費:600円(会場の聖地の拝観お礼+施工者へのお礼)

参加申込方法:7月7日(木)までに、お名前と所属、連絡先の電話、FAX番号を明記の上、下記までお申し込み下さい。

参加申込み頂いた時点で「参加受理」とさせて頂き、当会からの参加受理の連絡は省略させて頂きます。

参加申込先: 関西木造住文化研究会

TEL 075-411-2730 悠計画研究所内、FAX 075-411-2725

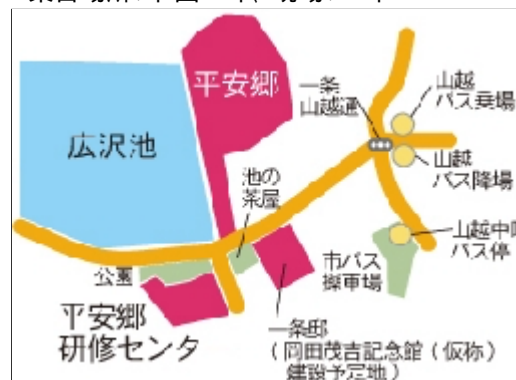
E-mail [info@karth.sakura.ne.jp](mailto:info@karth.sakura.ne.jp)

京都市上京区上立売通浄福寺西入ル姥ヶ東西町 632

会場案内図・交通アクセス(右図)

- ・見学先の駐車場は利用できません。
- ・バス停「山越」から信号を渡り西へ徒歩約5分
- ・阪急嵐山駅又はJR花園駅下車、タクシー約15分

集合場所:下図 印、現場: 印



世界救世教平安郷HPより